

事業所名

放課後等デイサービスCONOASU

支援プログラム（参考様式）

作成日

6年

11月

11日

法人（事業所）理念		子ども達と明日(未来)を考え、明日(未来)を創造していきます。私達は、子ども達にギブ(貢献)をすることで、子ども達が将来社会的に自立することを目標としています。社会的自立は、社会へギブ(貢献)と捉えています。								
支援方針		ギブ&ギブで幸せの輪を広げる 子どもたちの健やかな成長を喜びながら全力でサポートし続けることで社会的自立をかなえ誰もが幸せに暮らせる未来社会を創造します。								
営業時間		9時	0分	から	18時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的支援を活用しながら、毎日の検温、手洗い、消毒、身だしなみ、整理整頓等の基本的な生活スキルの習得 ・活動場所の構造化を図り、文字や絵カード、手順書で掲示 視覚的支援の活用 ・活動のスケジュールを設定し、生活リズムの安定を図る 								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職による身体機能向上の機会の提供(姿勢の保持、運動、日常生活動作等)個別・小集団 ・マット、平均台、バランスボール、バランスボード、トランポリン、サーキット遊びの提供 ・創作活動(製作・工作等)の活動を通して手先の訓練や、巧緻性の向上を図る ・感覚遊びや、感覚刺激を取り入れた手先の訓練、運動遊びを通して、バランス感覚や体幹の基本の習得 								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・空間、時間等の概念の習得のため、時計、タイマー等の補助教材の活用し視覚的支援を提供 ・お子様の能力に合わせた個別課題、学校の宿題のサポートの実施 ・身近な例や距離感等、ソーシャルスキルトレーニングの実施 								
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や日常会話を通して、円滑なコミュニケーション能力を高める。 ・お子様の特性を把握し、言葉での表現方法だけでなく、見振り、手振り、ジェスチャー、絵カードなどの非言語コミュニケーションを活用し、言語の発達や、コミュニケーション能力の向上を図る ・お子様同士で共感し合える振り返りの場面・時間を設定し、聞く、話す、他者と触れ合う能力を養う 								
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・余暇時間、集団活動、集団遊びを通して、自己理解や他者理解を養う ・ごっこ遊び、疑似体験、交通ルールや公共マナーに関する理解知識を高める ・小集団、グループ活動を通じて、他者とのやり取りを楽しみ、チームワークや協調性を育む ・社会体験の機会を設ける(買い物支援等) 								
家族支援		事業所内面談、オンラインにて家庭支援の安定、充実を図るため相談援助 保護者同士が交流出来る機会を設ける お子様の発達状況、特性の理解等の相談援助			移行支援		進学先、就労先等との情報共有 ニーズに応じて学校や各関係機関との連携を図り、支援内容の情報共有を行う			
地域支援・地域連携		地域各関係機関との連絡会議等での情報交換・共有 地域事業の研修会の参加：支援内容の充実化 地域施設の利用：図書館等公共施設の利用			職員の質の向上		支援前後にミーティングを実施し、情報共有の実施 事業所内研修を毎月1回程度開催し、職員のスキルアップを図る 外部研修、勉強会への参加 各種資格取得費用の助成			
主な行事等		外出の機会(体験学習・買い物体験・近隣施設の利用・公共機関を使用して外出) 調理活動(おやつ作り・昼食作り等) 季節の行事(誕生日会・夏祭り・クリスマス会・ハロウィンイベント等)								